経済指標ウォッチャー

法人企業統計調査9月 設備投資が5四半期連続のプラス

中国のロックダウンやウクライナ情勢の長期化が悪影響を及ぼすことも

法人企業統計調査とは？

財務省が金融・保険業を除く営利企業の財務状況について調査した統計。全企業を資本金額や業種別に分類し、売上高や経常利益、設備投資などの財務諸表の項目が集計されていることから、国内の企業活動の実態を概ね把握することができる。なお、資本金1,000万円以上の企業を対象として四半期ごとに実施される『四半期別調査』は、3月、6月、9月、12月の初旬に公表される。

設備投資は製造業は増加、非製造業は横ばい

9月1日に財務省が発表した2022年4～6月期の法人企業統計調査によると、全産業（資本金１千万円以上、金融業、保険業を除く）の設備投資は前年同期比4.6％増の10兆6,108億円となり、5四半期連続でプラスとなりました。

業種別の内訳では堅調な輸出需要を背景に、化学や電気機械などが生産能力を増強したことから、製造業が同13.7％増と大きくプラスとなりました。一方、非製造業は、住宅への需要が堅調な不動産業が1～3月期に引き続き大きくプラスとなったものの、物品賃貸業や情報通信業が伸び悩み同0.01％減とほぼ横ばいとなりました(図表1)。

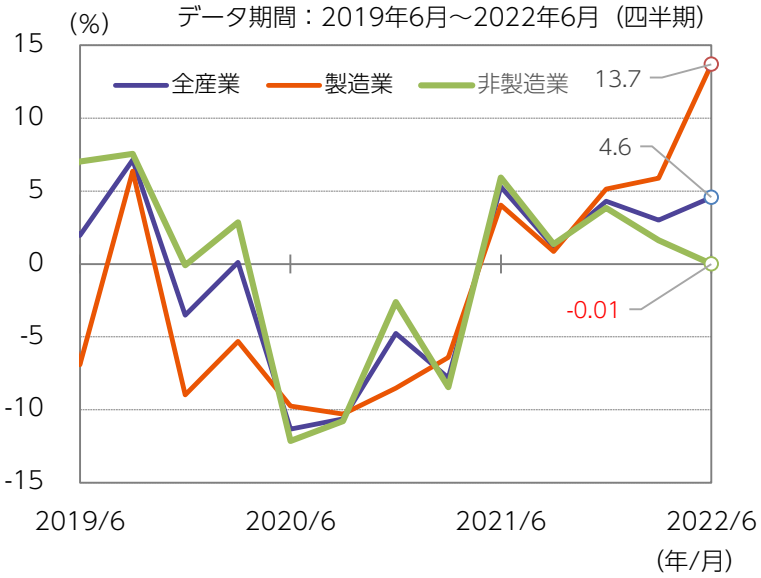
経常利益は6四半期連続のプラス

全産業の経常利益は前年同期比17.6％増の28兆3,181億円と6四半期連続でプラスとなり、1954年4～6月期の調査開始以来の最高を記録しました。

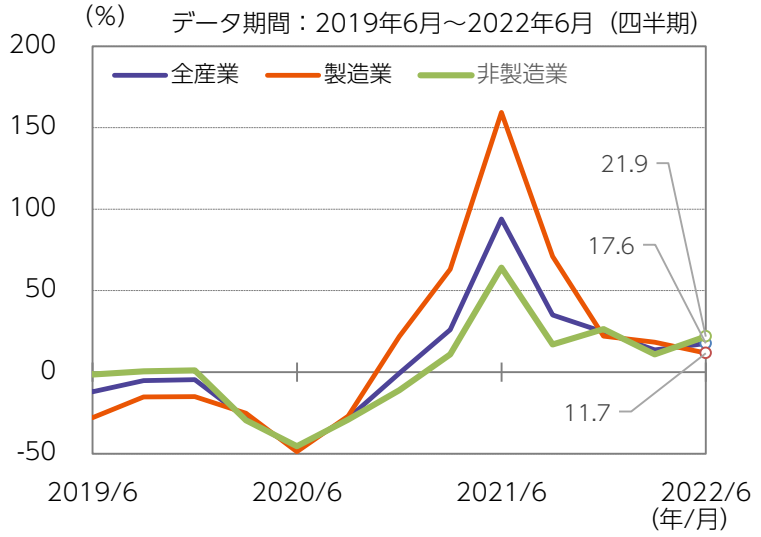
業種別の内訳では製造業が同11.7％増、非製造業は同21.9％増となりました(図表2)。半導体関連部品の需要増を受け、製造業のうち情報通信機械が大幅な増益となりました。非製造業ではまん延防止等重点措置等の行動制限の解除に伴い消費活動が活発化したことなどから、卸売業・小売業の増益が目立ちました。また、1～3月期からさらに円安が進行し、輸出関連産業の利益が押し上げられたことも経常利益の改善要因となったとみられます。

岸田首相は8月31日に1日あたりの入国者数上限を2万人から5万人にすることを公表しました。インバウンド消費の改善により、観光業などを中心にさらなる増益も期待されます。一方で、中国における再ロックダウン（都市封鎖）や長期化するロシア・ウクライナ情勢による原材料の調達難などが、企業の設備投資や利益に悪影響を及ぼす可能性もありそうです。

図表１：設備投資(前年同期比増減率)の推移



図表２：経常利益(前年同期比増減率)の推移



出所）図表1、2は財務省「法人企業統計調査」をもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

＜設定・運用＞

ニッセイアセットマネジメント株式会社

商 号 等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第369号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社
コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）
ホームページ　https://www.nam.co.jp/